

話し合ったテーマ

基礎自治体ごとに話し合いたいテーマを事前に設定しました。

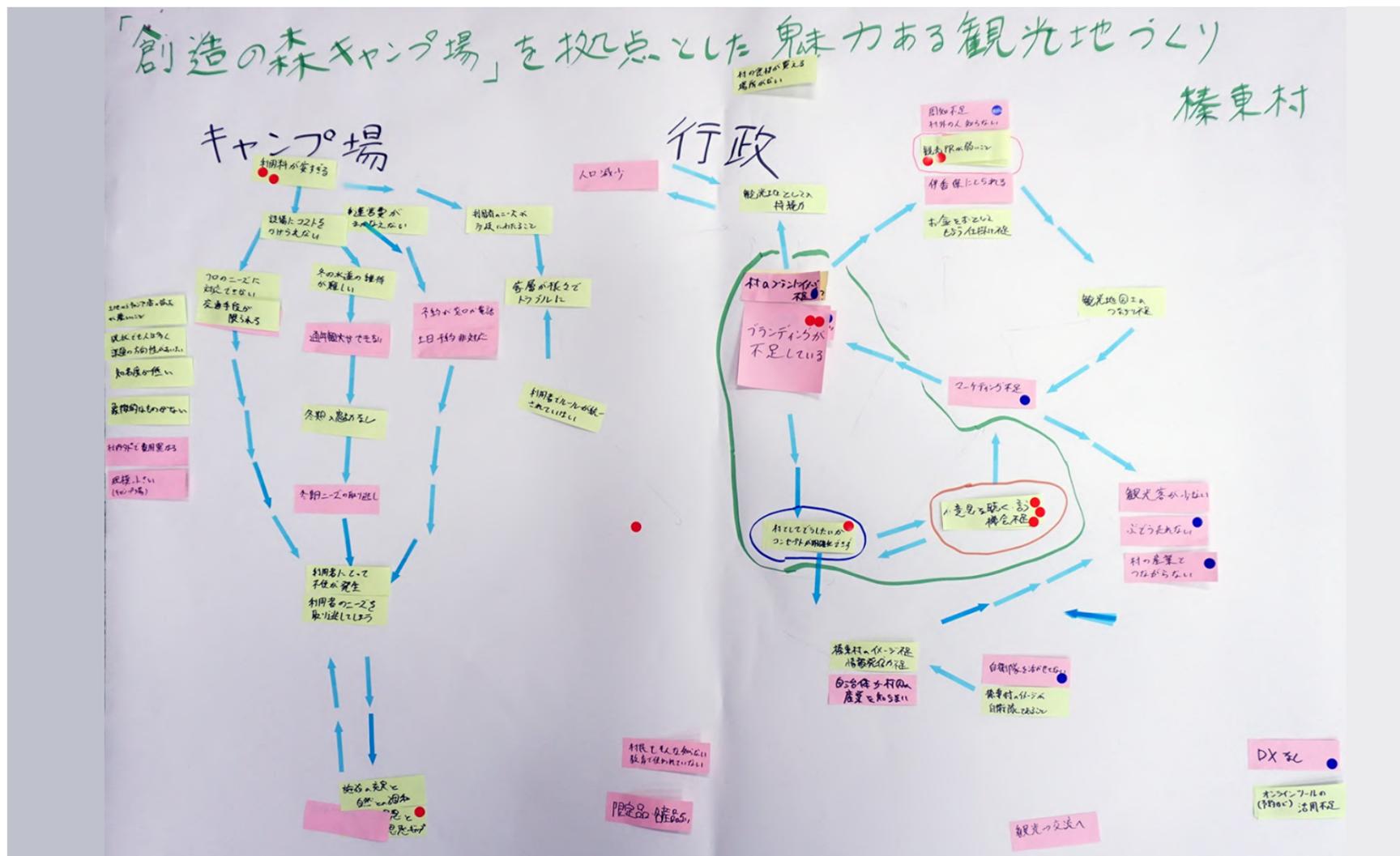
「創造の森キャンプ場」を拠点とした魅力ある観光地づくり

自治体名

榛東村

課題の構造図

テーマについて詳しい方や対象者へのヒアリング、自分自身の経験などから、チームのメンバーで課題を引き起こしている要因同士の複雑なつながりを紐解き、整理した図です。



フォーカスした問い

チームで話し合い、課題の構造図の中のどこにポイントを絞るといいのかを定め、誰の・どんな行動を・どう後押しするのか？を、「問い」のかたちにまとめました。

1 意見を聴く、言う機会不足

並行線の道を歩む住民と行政が村の現在と未来について、互いに意見を言い、聴き、知恵を出し合い、魅力のある村づくりをするために、何が可能か？

2 村としてどうしたいかコンセプトが明確化できず

村としてどうしたいかコンセプトが明確化できず榛東村と聞いてもイメージがわからない観光客（旅まえ）が村のイメージを連想できる状態となり、毎日20組30人が榛東村を目的地として訪れるために、何が可能か？

未来の種

問いに対して、どんなアクションを起こすとより良い未来につながるのか、チームで話し合った意見の中から、特に実現してみたい「未来の種」となるようなアイデアの一覧です。

<p>広げよう グループの輪</p>	<p>榛東村をPRするFacebookグループをつくり、地域のイベント情報共有や困りごとの解決、意見交換などを行う集約の場をつくる。まずは100人まで広げてみる。</p>	<p>一生忘れない 村を生み出したい</p>	<p>村が目指すべき観光地の方向性が決まり次第、全世界に榛東村をイメージできるキャッチフレーズを発信する。例として、「星空 × コンセプト」星空と夜景の写真を1万枚集めるプロジェクトなど</p>
<p>星空 ミーティング スペース 「Waku Waku!」</p>	<p>しんとう温泉ふれあい館の敷地内で焚き火を囲んでミーティングができるスペースや足湯に入りながらミーティングができるスペースを設置する。毎週金曜日に住民会議を実施し、住民同士の交流の場にする。</p>	<p>榛東村に群がる 仕組み作り！ 榛東村の良さを 多くの人に 浸透させたい！</p>	<p>場所は問わず商工会メンバー、住民、観光局が「#榛東村」で村のことをPR。十人十色の榛東村を発信していくことで、色々な村の姿をPRする。それぞれのSNSでの対応のためコスト0。</p>